





報告書 2020











力を合わせて

「廃プラスチックの根絶」は大胆なビジョンです。しかし、世界規模の問題に立ち向かうには、大胆なビジョンが必要なのです。これはもちろん、個人の力だけでは達成できません。みなさんの協力があってはじめて、人類の繁栄と地球の環境保全を可能にするサーキュラーエコノミー (循環型経済)の実現を目指すことができるのです。

18ヵ月の間に、AEPW(廃棄プラスチックを無くす国際アライアンス)は大きな発展を遂げました。現在、ガーナ、インド、インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナムの様々な都市で14のプロジェクトが実施されています。これは、AEPWが掲げるコラボレーションとパートナーシップに基づくグローバルな取り組みの成果です。

ジェイコブ・デュアプレジデント兼最高経営責任者(CEO) Alliance to End Plastic Waste(廃棄プラスチックを無くす国際アライアンス)

AEPWの理念

ソリューションの開発、促進と展開

コミュニティへの呼びかけ

廃プラスチック削減への投資誘致

成果

最優先地域における「プラスチック廃棄物ゼロ」都市の取り組みの実践と拡大

自治体主体の廃棄物管理 体制の確立 廃プラスチック削減に向けた資本誘致のため の投資モデルやパートナーシップ体制の提唱 と実践

AEPWの4つの戦略の柱

インフラの整備

イノベーション

教育・啓蒙活動

清掃活動

廃プラスチックの回収、管理、リサイクルを行うシステムへの投資を行い、アジアとアフリカの地域社会を中心とする支援活動を行います。

サーキュラーエコノミー (循環型経済) を実現するための最新技術やソリューションの開発につながるアイデアの創 出と支援を行います。 AEPWは、一人ひとりが廃プラスチック問題の原因について学び、廃プラスチック削減に向けて取り組めば、長期的な変化をもたらすことができると確信しています。

パートナー企業との協力体制のもと、 廃プラスチック問題の根本原因を解消 し、廃プラスチックのない環境の実現 を目指します。

グローバルに考え、ローカルに行動する

廃プラスチック削減はグローバルな課題ですが、その解決には地理的特性を考慮した具体的なソリューションが必要です。つまり、廃棄物の基本的な回収体制が確立されていない地域、特に廃プラスチックの流出が多い地域を優先して、基本的な廃棄物回収システムの整備を進めていく必要があるのです。その他の地域では、廃棄物処理の高度化を目指し、{1}先進的なリサイクルシステムのためのイノベーションや新しい手法の普及を図ります。

真の意味でのグローバルなアプローチを採用するため、AEPWの活動は、特定の地域や国を担当する地域・国別のタスクグループによって支えられています。現在、タスクグループは、ヨーロッパ、北アメリカ、南アメリカ、インド、中国、日本、東南アジア、中東およびアフリカで重点的に活動しています。各タスクグループは、担当する国や地域の事情や状況を踏まえながら、AEPWの戦略と国・地域社会の最優先事項を考慮した上で、適切なプロジェクトの選択と実施をサポートしていきます。

テーマに沿った実践的なアプローチ

1

都市との連携

廃棄物の回収システムが整備されていない世界各国の地域社会で、廃プラスチックの「回収、収集、抑制」の体制を確立します。

2

リサイクル資源の価値を創出

容器包装や建築・建設資材など、最終 市場におけるリサイクル資源活用への 需要を創出、促進します。 3

先進的な回収・リサイクルシステムの確立

小規模または大規模な最先端の廃プラスチック回収施設を建設する機会を模索し、廃プラ スチックの再利用化を図ります。

4

循環型デザイン

製品設計の早い段階でイノベーション を行い、プラスチックの削減、再利用 、リサイクルを推進して持続可能な社 会モデルを確立します。 5

社会の行動様式

社会全体の行動様式に関する知見や洞察を深めて市民の意識向上を図り、民間の廃棄物事業者に対する啓蒙活動を行います。

AEPWが実施しているプロジェクトは以下の通りです。

Project STOPジュンブラナ – インドネシア、バリ島

提携団体: Project STOP

Project Stop ジェンブラナは、バリ島北西部のジュンブラナ県を拠点に 健全な廃棄物管理に向けたサービスの設計と展開を行っています。

プラスチック廃棄物ゼロ都市 – インド、プドゥッチェーリ&ベトナム、 タンバン

Closing the Loop – ガーナ、アクラ{1}提携団体:ASASE財団

Closing the Loopでは、アクラの貧困地域の路地で回収した廃プラスチックをCASH IT! 施設で処理し、リサイクル業者に販売することで、同地域の女性起業家に収入や雇用の機会を提供しています。

AVIRAL – ガンジス川流域の廃プラスチック削減への取り組み – インド、リシケシ&ハリドワール

提携団体:ドイツ国際協力公社(GIZ)

Aviralは、ヒンドゥー教の祭典「クンブ・メーラ」の期間中、人口が30万人から数千万人に膨れ上がる2つの都市の廃棄物管理問題に取り組んでいます。

Planks of Promise – フィリピン、マニラ

提携団体:The Plastic Flamingo

マニラに拠点を置く社会的企業「The Plastic Flamingo」との提携による、AEPW初のフィリピンプロジェクトです。廃プラスチックの回収とリサイクルを通して海洋プラスチック汚染の解消に取り組んでいます。

アフリカン・パークス財団 助成金

AEPWは、世界11カ国における17カ所の国立公園と自然保護区(約1,330万ヘクタール)の再生と管理を手がける非営利の自然保護団体「アフリカン・パークス財団」と提携しています。

ガンジス川再生プロジェクト – インド、バラナシ

提携団体:Renew Oceans

このプロジェクトでは、海洋プラスチックごみを回収、転用して市場価値のあるリサイクル資源に再生し、廃棄物回収者に収入機会を提供しています。

プラスチック廃棄物ゼロ都市(PWFC)提案依頼書プログラム

AEPWは、アジア、アフリカ、中南米地域でプラスチック廃棄物ゼロ都市(PWFC)を実現するためのソリューションに対する資金調達を目的とした提案依頼書(RFP)プログラムを発足しました。PWFCは、生態系および社会経済システムが最も危機的状況にある都市に重点投資を行います。

高度リサイクル事業のフィージビリティ・スタディ - インドネシア、バンドン&モジョケルト

リサイクルが困難な廃プラスチックを処理するための様々な技術を検討 し、包括的な廃棄物管理システムの中でメカニカルリサイクル(物理的 再生法)を実現するための方法を模索しています。 提携団体:グラミン・クリエイティブ・ラボ

プラスチック廃棄物ゼロ都市は、廃棄物管理システムを構築し、インドとベトナムの地域社会に経済機会を提供することを目指しています。

廃プラスチックの根絶を目指すイノベーションプラットフォーム - パリ、シリコンバレー、シンガポール

提携団体: Plug and Play Tech Centre

廃棄物の回収、分別、リサイクル、再生プラスチックの活用を中心に廃 プラスチック問題の解消に取り組むスタートアップ企業を支援するため の促進プログラムです。

インキュベーション・ネットワーク(TIN)- 南アジア、東南アジア

提携団体:The Circulate Initiative

インキュベーション・ネットワーク(TIN)は2019年以降、何百人もの起業家、投資家、支援団体、市民社会、政府機関をまとめ、海洋プラスチック汚染を防ぐための技術やモデルを開発している先進的な人々を支援してきました。







AEPWは「廃プラスチックの根絶」という大胆なビジョンを掲げています。これは、新しい未来へのほんの布石に過ぎません。私たちは、世界人類すべての人々が充足した生活を送ることができるよう、今すぐ行動を起こす必要があるのです。より良い未来を築くためには最適なソリューションを見つけて素早く構築しなければなりません。

AEPWは、この課題に立ち向かうために発足されました。AEPWは、プラスチックの製造、販売、利用、リサイクルに関わる様々な組織や政府機関と密接に協力しています。また、サーキュラーエコノミー(循環型経済)を実現するための実行可能なソリューションを構築するため、先進的なプラスチック廃棄物管理を目指してシステムや製品・サービスの設計を行う企業と連携しています。さらに、地域のパートナーとともに堅牢な廃棄物管理システムを構築し、健全な地域社会ときれいな海の実現を目指しています。



2025年までの目標

2025年までに以下を実現するための投資可能なモデルとパートナーシップを確立し、2025年以降も継続して活動していきます。

廃プラスチック問題が危機的状況にある100カ所以上の都市でプロジェクトを実施し、廃プラスチックの管理体制を整備して、複数都市で数百万トンの廃プラスチックを転用する。

自治体主体の廃棄物管理体制を構築し、1億人を超える地元の人々の生活を支援する。

AEPWの投資額の5倍以上の投資誘致を目指し、廃プラスチックの根絶と持続可能な都市を実現するための活動やソリューションを促進する。

AEPWにぜひご参加ください

AEPWの最大の特長は、実際のプロジェクトや、一流の参加企業との交流を通して多くの学びを得られることです。

AEPWは、メンバーと力を合わせて取り組みを進めるとともに、他の人々にも積極的な活動を呼びかけています。皆が一致協力すれば大きな力が生まれると信じ、AEPWの理念に賛同してくださる企業や団体の皆様、先見の明を持って未来の変革をしていく方々のご参加をお待ちしています。ともに廃プラスチック問題に取り組み、より良い未来を目指して積極的に行動しましょう。

詳細は endplasticwaste.org をご覧ください。 AEPW 日本代表 穴田武秀

参加企業







































































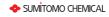


























サポーター



















設立戦略パートナー